

創立120周年を迎えた本校の新教育課程について ～商業教育の基礎・基本を重視したカリキュラム～

新潟県立新潟商業高等学校教諭 西澤 文幸

I 本校の概要

本校は、1883年（明治16年）に開校し、今年創立120周年を迎え、商業高校としては全国で3番目に古い歴史をもち、新潟県における商業教育の中心校である。50万都市、新潟市の市街地に位置する。

現在、商業科4クラス、会計科2クラス、情報処理科2クラス、そしてその他の専門学科である国際教養科2クラスの10学級400名（全校30学級1,200名）の大規模校である。

時代の進展に対応した商業教育を推進して、経済産業省基本情報技術者試験や実用英語技能検定2級の合格者数では、全国トップクラスの実績を上げている。また、1999年、インターハイにおいてバスケットボール部男子が全国制覇するなど部活動も盛んである。

II 進路状況

「失われた10年」の言葉に象徴される長引く不況下においても、本校は県内で最も就職に恵まれている高校である。最近4年間は100人ほどの就職者数にとどまっているものの、2001年度（2002年3月卒）の就職者数は104名（卒業者数に占める就職者数の割合26.4%）で、希望者の就職率100%を実現した。しかし、10年前の1993年度卒業生の就職者数が252名（卒業者数に占める就職者数の割合56.9%）であったことと比較すると、隔世の感がある。

大学・短大進学者は1994年度には90名であったが、1995年度に138名と急増し、以後150名を超える状況が続き、昨年度（2002年3月卒）のそれは、過去最高の171名（卒業者数に占める大学・短大進学者数の割合43.4%）を数えた。国公立大学への進学者も、この5年で10名から27名へと急増し、昨年度の国公立大学進学者数は、全国の商業高校の中で3番目であった。

○主な進学先（2002年3月卒、人数）

国公立大学（27）

新潟大 長岡技術科学大 新潟県立看護大

金沢大 富山大 福島大 茨城大

群馬県立女子大 都留文科大 静岡県立大

大阪外国語大

私立大学（106）

早稲田大 明治大 法政大 中央大 学習院大

日本大 東洋大 駒澤大 専修大 獨協大

明治学院大 他

短大（38）

県立新潟女子短大 国立高岡短大

会津大短大部 神奈川県立外語短大 他

III 学科構成の変遷

本校において大学・短大進学者数が増加している理由としては、①英語教育に特化した教育課程を施し、大学進学を目標に掲げている国際教養科の卒業生が4期生まで出たこと、②商業関連学科も男子の半数以上が大学進学を希望するなど、進学希望者が確実に増加していること、③商業推薦枠を設けたり、専門教育の検定・資格等を重視する大学が増えたことにより、本校の生徒にとっては進学できる機会が広がっている、などが挙げられる。商業関連学科からの大学・短大進学者数に占める推薦入学者数の割合は、昨年度74.6%であった。

本校の学科編成の変遷は、下記の表のとおりである。

1986年以前	商業科10
1986年4月	商業科9 情報処理科1 情報処理科新設
1987年4月	商業科8 情報処理科2 情報処理科1学級増設
1994年4月	商業科6（国際経済コース2・

	OAビジネスコース2・商経進学コース2) 会計科2 情報処理科2 会計科新設、商業科コース別クラス編成を始める。
1996年4月	商業科4（国際経済コース2・OAビジネスコース2） 会計科2 情報処理科2 国際教養科2 その他の専門学科である国際教養科を新設。代わりに商業科商経進学コースの募集を停止。
2001年4月	商業科4 会計科2 情報処理科2 国際教養科2 商業科のコース別クラス編成を廃止し、2年次からの系統選択を導入。

※ 学科・コースの後ろの数字は1学年の学級数

Ⅳ 商業関連学科の新教育課程

全国的に総合学科制や大幅な選択制が導入されている状況と比較すると、2003年度から実施される本校商業関連学科の新教育課程は、2年次までは実質的に必修科目のみ、という個性的な編成となっている。それが可能なもの、7限授業を実施し、教科時数を1学年当たり32単位確保しているからである。

編成の要点は、次のとおりである。

① 1年次履修科目は全学科共通

1年次は、普通科目・商業科目とも3学科共通履修である。商業科目は、「ビジネス基礎」・「簿記」・「情報処理」3科目計10単位である。各学科の特性を示す重点科目に、単位数で比重をかけている。商業科・会計科は「簿記」に5単位、情報処理科は「情報処理」に5単位配当している。

② 2年次までは実質的に科目選択制がなく、簿記会計・情報・英語の3分野を必修

商業科・会計科・情報処理科3学科とも、2年次まで商業教育の3つの柱である簿記会計・情報・英語の3分野に関する科目を、2カ年継続で必修にしている。商業教育の原点に立ち返り、基礎・基本

を重視したカリキュラムの編成に留意した結果である。この点で、2年次から多岐に渡る選択科目群を設け、この3分野に関する科目でも選択科目に置いている他の商業高校の教育課程とは異にしている。

特に英語には、1年次6単位、2年次6単位、そして3年次には3単位、計15単位を商業関連全学科必修として配当している。3年次に英語Ⅱとライティングを選択すれば、3年間の英語科履修単位数は20単位になる。従来の商業教育において、簿記会計・情報・英語の3分野の中で力点の置かれ方の弱かった英語を重視することは、ビジネスの国際化に対応できる基礎力をつけるためであり、商業教育の原点に回帰することにも繋がるが、差し迫った課題としては、生徒の進学機会を更に広げるためである。本校には英語教育に特化している国際教養科があり、そこで培われた教育技術が、商業関連学科の必修英語科15単位においても活かされることは、十分期待できる。

「ビジネス基礎」は商業教育のガイダンス科目であり、そこに「英語実務」の単元が一部導入されたことは、英検対策指導を促すきっかけになるであろう。資格取得がすべてでないことはもちろんであるが、資格取得への取り組みは、更なる学習意欲や学んだことに対する達成感などを、生徒本人に持たせる教育効果がある。新教育課程実施を機に、在学中の最終取得目標に向け、受検する資格の精選を図り、指導計画のフローチャートを描く必要があることは当然である。

商業関連学科在校生全員が目指す取得目標資格は、日商簿記2級・全商情報処理1級・実用英語技能検定（STEP）準2級である。もちろん、学習が進んだ生徒には、それらの上位資格である日商簿記1級・基本情報技術者または初級システムアドミニストレータ・実用英語技能検定2級を目指させることは、従来と変わらない。今までに情報処理科からソフトウェア開発技術者（第1種）に9名、国際教養科から実用英語技能検定準1級に1名合格者が出ている。

③ 3年次から具体的進路を意識した選択制

本校生徒には就職・進学とも大きなチャンスがあるので、進路希望が突然変わったり、二転三転するケースはよくあることである。進路選択は生徒の一生にかかわる大切なことであるから、進路変更に対しても肯定的に捉えるよう、職員全員のコンセンサ

スを得ている。2 年次から就職・進学に分ける教育課程編成では、実際には1 年次1 学期終わりに生徒の希望を取らねばならず、これは本校の実状に合わないと判断し、旧課程における2 年次からの選択制を止め、3 年次からにすることにした。

2 年次まで必修科目のみでも基礎・基本重視の系統立った科目配置をしているので、就職・進学いずれにも対応可能であると考えている。

「課題研究」では、各生徒の具体的進路を考えるきっかけになるような、以下の9 講座を設けている。

①時事英語

実用英語技能2 級・全商英語1 級取得によって推薦条件をそろえる。国立大推薦入試の英語対策。

②ハングル（韓国語）／③中国語

履修者推薦を実施している大学・短大への進学、あるいは学習歴の「個性値」を上げるのが目的で、ネイティブスピーカーの講師（言語学の博士号取得者、博士課程修了者）が指導している。本校で1994 年度から取り組んでいる第二外国語教育である。

④時事研究

社会科学系学部への進学を意識した小論文指導。

⑤ケーススタディ

生徒が研究テーマを決め、論文を完成し、商業クラブ研究発表大会等で発表する機会をもつ。

⑥ビジネスマナー

秘書技能2 級の取得。主として就職希望者対象。

⑦ビジネス会計

簿記会計の研究論文作成と大学入試問題対策。

⑧情報技術

全商情報処理検定ビジネス部門1 級の取得。

⑨経営情報科学

将来、企業経営をしてみたいと考えている生徒を対象に、経済産業省初級システムアドミニストレータ取得によって業務知識を身に付けさせることと、ビジネスゲーム・起業体験（SCP：Student Company Program）の指導をしている。

V 課外学習について

本校において情報処理科が小学科として設置されてから、科単独で実施されていた1 年次における朝学習と夏季学習合宿は、職員の自発意識から今や国際教養科も含めて、全学科で実施されるようになっている。新教育課程が実施される2003 年4 月以降も、新カリキュラムに合わせて内容を再考しつつ、継続

していく予定である。

この2 つの課外学習は、入学早期からの学習習慣の確立に役買っている。

①朝学習

時期に応じて英・数・国の小テスト、タイピング実習、簿記CAI学習、プログラミングなどのメニューを始業前の8 時15 分から30 分でこなすように指導している。毎日わずか15 分であるが、遅刻防止にもなり、大半の生徒は意欲的に取り組んでいる。

②夏期学習合宿

毎年、夏休みに入るとすぐに近郊にある合宿施設に出かけ、学習合宿を2 泊3 日の日程で実施している。3 日間昼夜をかけて合計約20 時間の学習時間を作って授業するが、「初めてこんなにたくさん勉強した」と感想をもらす生徒が多く、勉強に向かう集中力の涵養に役立っている。

③外部講師による小論文指導

従来から小論文指導は、「課題研究」の講座である「時事研究」や担当者を割り当てた個別指導で行っている。さらに2002 年度より、月2 回の土曜日を活用して、外部講師による小論文指導を3 年生の進学希望者を対象に実施しており、その成果が期待されるところである。

VI まとめ

120 年の長きに渡って商業教育を実践してきた本校にとっては、これからも良き伝統を守りつつ、教育方法の創意工夫を不断に求められていることを胸に、職員・生徒共に組織的、継続的に努力していくことが肝要である。本校の実践例は、設備に大きく依存することなく、日常的に実施可能なことばかりである。

これからも他校との教育情報のネットワークを密にして、21 世紀の産業社会の中核を担う生徒を育てていきたい。

商業関連学科教育課程表（平成15年度入学生用）

教科	科目	標準 単位	商 業 科				会 計 科				情 報 処 理 科			
			1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
国語	国語表現Ⅱ	2			●2	0～2			●2	0～2			●2	0～2
	国語総合	4	5			5	5			5	5			5
	現代文	4		2	3	5		2	3	5		2	3	5
	古典講読	2		2	●2	2～4		2	●2	2～4		2	●2	2～4
地理	世界史B	4			4	4			4	4			4	4
歴史	日本史A	2		2		2		2		2		2		2
公民	倫理・経済	2			2	2			2	2			2	2
数学	政治学Ⅰ	3	3		■3	3～6	3		■3	3～6	3		■3	3～6
	数学Ⅱ	4			■3	0～3			■3	0～3			■3	0～3
	数学A	2		2		2		2		2		2		2
理科	理科総合A	2	2			2	2			2	2			2
	物理Ⅰ	3											○3	0～3
	化学Ⅰ	3			○3	0～3			○3	0～3				
保健体育	生物Ⅰ	3		3		3		3		3		3		3
	体育	7～8	3	2	2	7	3	2	2	7	3	2	2	7
	保健	2	1	1		2	1	1		2	1	1		2
芸術	音楽Ⅰ	2			▲2	0～2			▲2	0～2			▲2	0～2
	美術Ⅰ	2			▲2	0～2			▲2	0～2			▲2	0～2
	書道Ⅰ	2			▲2	0～2			▲2	0～2			▲2	0～2
外国語	オラルコミュニケーションⅠ	2	2			2	2			2	2			2
	英語Ⅰ	3	4	2		6	4	2		6	4	2		6
	英語Ⅱ	4		4	□2	4～6		4	□2	4～6		4	□2	4～6
	リーディング	4			3	3			3	3			3	3
家庭	ライティング	4			○3	0～3			○3	0～3			○3	0～3
	家庭基礎	2		2		2		2		2		2		2
	フードデザイン	2～6			□2	0～2			□2	0～2			□2	0～2
普通教科計			22	22	19～26	63～70	22	22	19～26	63～70	22	22	19～26	63～70
商業	ビジネス基礎	2～4	2			2	2			2	2			2
	課題研究	2～4			3	3			3	3			3	3
	総合実践	2～4			3	3			3	3			3	3
	商品と流通	2～4		◎2		0～2								
	マーケティング	2～4		◎2		0～2								
	英語実務	2～4		◎2		0～2								
	経済活動と法	2～4			□2	0～2			□2	0～2				
	国際ビジネス	2～4			●2	0～2			●2	0～2			●2	0～2
	簿記	2～4	5			5	5			5	3			3
	会計	2～4		3		3		4		4		3		3
	原価計算	2～4		3		3		4		4		2		2
	会計実務	2～4							○3	0～3				
	情報処理	2～4	3			3	3			3	5			5
	ビジネス情報	2～4		2		2		2		0～2			□2	0～2
	文書デザイン	2～4			○3	0～3							○3	0～3
	プログラミング	2～4										5		5
専門教科計			10	10	6～13	26～33	10	10	6～13	26～33	10	10	6～13	26～33
ホームルーム			1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
合計			33	33	33	99	33	33	33	99	33	33	33	99

※ 同じ記号の中から1科目選択